愛知医科大学看護学部

父母会会報

2025
第48号
発行日
2025年9月1日

令和7年度入学式

看護学部父母会会長就任にあたって

父母会会長　田上　寛

会員の皆様には、日頃より父母会活動にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。この度、5月17日(土)に開催されました令和7年度定期総会にて、会長職を拝命いたしました。昨年度の副会長としての経験を活かし、愛知医科大学看護学部のさらなる発展と、学生及び保護者の皆様への迅速な情報共有に尽力してまいります。

父母会は設立24年目を迎えました。これもひとえに、会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。これまで、学生行事や福利厚生の充実、学外臨地実習に伴う交通費の助成、国家試験対策講座の開催など、多岐にわたる学生支援を行ってまいりました。これらの活動は、大学運営に貢献し、看護師・保健師国家試験の高い合格率維持を支えるものと確信しております。

現代社会は、「2025年問題」による医療・介護需要の増大、そして医療DXやAI技術の進展といった大きな変化に直面しています。このような時代において、看護師の役割は在宅・予防看護へと広がり、多職種連携の重要性が高まっています。また、「人生100年時代」を迎え、看護職には生涯にわたる学びと、自らのキャリアを主体的に築く「キャリア・オーナーシップ」がますます重要になっています。

父母会では、今後も会員の皆様からの貴重なご意見を伺いながら、国家試験の高い合格率維持をはじめとする学生支援を継続し、さらに発展させていく所存です。引き続き、父母会活動へのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

CONTENTS

学長・看護学部長あいさつ …… P1
令和7年度入学式 …… P1
令和7年度定期総会及び議事録 …… P2
令和7年度定期総会ご来賓の挨拶と報告 …… P3
令和6年度卒業証書・学位記授与式 …… P5
令和6年度卒業時成績優秀者表彰 …… P5
令和6年度保健師・看護師国家試験結果 …… P6
会員だより …… P7

■年間スケジュールは父母会ホームページをご覧ください。
https://www.aichi-med-u.ac.jp/fubokai/

■父母会会報へのご意見・ご要望をお聞かせください。

看護学を通して社会に貢献出来る看護師の育成をめざして

理事長・学長　祖父江　元

皆様、愛知医科大学看護学部のキャンパスライフはいかがですか。日々の研鑽とともに将来に向けたキャリアパスのビジョンを持ち続けてほしいと願っています。大学としても、勉学や実習の環境整備や学費支援など出来るだけのことをサポートして行こうと考えています。

実践性を重視した看護学博士課程の設置が認められ、今年は最初の博士課程大学院生を受け入れたところです。看護学の発展に貢献できる人が育ってほしいと願っています。また、今年からヘルスケア共創センターが立ち上がっており、地域連携や高齢者看護など実践性の高い領域で経験を深めてほしいと思います。

今後の看護学には大きな領域が拡がっていると思っています。急性期医療の高度化に伴う看護師の役割、地域医療の高いニーズに対する看護師の役割、NP を始めとする今までは医師が行っていた医療行為の担い手としての看護師の役割、チーム医療の中での看護師の主導的役割など枚挙にいとまがありません。広い視点からのキャリアパスを描いてもらいたいと願っています。これを実現するために、看護の実践的な教育をさらに推進し、愛知医大病院や分院との連携も進めたいと思います。

高いモチベーションを持つ看護学部をめざしていきたいと思います。

看護学部父母会の皆様には、今後も更なる御支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

看護学部の新たな取り組みのスタート

看護学部長　若杉　里実

看護学部父母会の皆様には、日頃から多大なるご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。看護学部では、令和４年度から新カリキュラムをスタートさせ４年目を迎えます。今年度は、令和７年３月に提示された看護学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂内容と新カリキュラムとの整合性を確認し、カリキュラムの評価及び見直しをおこなっていきます。

看護学部のセンターとしては、看護実践研究センターと看護連携型ユニフィケーション推進事業の発展的統合により、令和７年４月にユニフィケーション部門、生涯学修支援部門、地域連携部門、研究部門の４部門で構成される「ヘルスケア共創センター」を設置しました。大学・病院・地域が有機的につながりあうプラットホームとなることをめざしていきます。

大学院看護学研究科は、令和７年４月に、博士後期課程のPh.Dコース（Doctor of Philosophy in Nursing）とDNPコース（Doctor of Nursing Practice）の２コースを同時に開設しました。

新たな取り組みを進めるには、父母会の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。今後も引き続き、ご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

令和7年度入学式

令7年度入学式が、令和7年4月6日（日）午前10時から大学本館「たちばなホール」にて執り行われ、看護学部１０４名、医学部１１６名が入学しました。

祖父江学長から告辞が述べられその後、新入生を代表して看護学部の小川絢平さんが宣誓を行い、続いて在校生代表の医学部6学年次生の柴田真友子さんから新入生歓迎の辞が述べられ終了しました。

令和7年度父母会定期総会及び議事録

令和7年度愛知医科大学看護学部父母会定期総会をオンライン開催とし、令和7年5月17日(土)午前10時から愛知医科大学看護学部棟3階N301講義室において開催いたしました。

令和7年度看護学部父母会オンライン定期総会議事録によりご報告いたします。

1. 出席者数は、出席者49名、議決権行使による承認数203名を含め252名であり会員総数441名の過半数を超えていますので、本会会則の規定により本総会は成立しました。
2. 加藤会長から、令和7年度定期総会の開催宣言及び挨拶があり、令和7年度父母会定期オンライン総会が開催されました。
3. 本会会則に基づき加藤会長が議長となり、本総会の議事を明確にするため議事録署名人として伊井典子理事と原　清美理事を指名し、本日の議事を進行しました。
4. 議事
   (1) 令和6年度事業報告について事前送付資料より議長から説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。次いで、令和6年度決算報告[一般会計及び特別会計]について事前送付資料により会計から説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。引き続き、令和6年度会計監査について監事より4月12日(土)監査を行った旨の報告があった。
   (2) 令和7年度事業計画について事前送付資料より議長から説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。
   次いで、令和7年度予算[一般会計及び特別会計]について事前送付資料により会計から説明があり、審議の結果、原案どおりこれを承認した。
   (3) 令和7年度役員選任について議長から本会会則に基づき説明があり、審議の結果、事前送付資料の役員候補者を承認し、令和7年度会長を田上　寛氏とし副会長1名・理事13名・会計2名・監事2名総勢19名の新役員を選任した。

以上、すべての審議事項が終了した後、田上新会長から挨拶があり令和7年度看護学部父母会定期総会を終了し、引き続きオンラインによる来賓挨拶と報告があった。

(5) 来賓挨拶
　若杉里実看護学部長より挨拶があった。
(6) 「令和7年度の看護学部の取り組み」について　(3-4項参照)
　泉　雅之教務学生部長より報告があった。
(7) 「看護学部の教育目標と学生の学修の実際」について　(3-4項参照)
　若杉里実看護学部長より報告があった。
(8) 「社会奉仕活動導入の提案」について　(3-4項参照)
　山中　真看護学部長補佐より報告があった。

令和7年度父母会役員(敬称略)

会　長
　4学年次　田上　　寛

副会長
　3学年次　戸塚　悦子

理　事
　4学年次　伊井　典子
　4学年次　大石宮百里
　4学年次　岡田みゆき
　3学年次　竹下　正恵
　3学年次　丹羽　智子
　3学年次　若林　知美
　2学年次　阪本　孔美
　1学年次　角前　　桃
　1学年次　木下佐知子
　1学年次　内匠　恵理
　1学年次　伊達　広子
　1学年次　土門　志保
　1学年次　松原由紀子

会　計
　2学年次　原　　清美
　2学年次　平綱佳奈恵

監　事
　4学年次　加藤　宏泰
　2学年次　大場　保英

報　告

1「令和7年度の看護学部の取り組み」の報告について（泉　雅之教務学生部長）

■令和6(2024)年度卒業生看護師国家試験・保健師国家試験結果について

第114回看護師国家試験結果
受験者数99名/合格者数99名(100%)全国合格率(新卒)95.9%
既卒者受験者数1名/合格者数1名(100%)
第111回保健師国家試験結果
受験者数15名/合格者数15名(100%)全国合格率(新卒)96.4%
既卒者受験者数1名/合格者数0名(0%)

■大学行事について

・入学式は4月6日(日)に従来どおり実施。
・2学年次生キャンドルセレモニーは6月14日(土)実施の予定。
・オープンキャンパスは8月2日(土)・3日(日)従来どおり実施の予定。

■就職に向けた支援について

・1学年次生
マナー講座(入学時に、身だしなみや言葉遣い、SNS等の一般的なマナーを学ぶ)
キャリアプランニング講座 (キャリアプランニングの基礎を学ぶ)
・2学年次生
就職支援講座(現在の就職状況についての講和、病院への電話やメール、訪問時等のマナーを学ぶ)
・3学年次生
履歴書の書き方講座(履歴書のブラッシュアップ、面接対策)
卒業生による進路懇談会
模擬面接
・4学年次生
アドバイザーによる履歴書の添削と面接の練習

■国家試験対策について

・2学年次生: 国家試験必須問題の模擬試験
・3学年次生: 240問の模擬試験
・4学年次生:
看護師：対策講座(東京アカデミー：全18コマ)
模擬試験：5回実施
寺子屋学習サポート会：3回実施
(模擬試験の全国基準結果など支援が必要な学生については、学修習慣の定着と合格ラインに入ることを目的に支援します)
保健師：対策講座(看護学部教員が2回実施)
模擬試験:(3回実施)

■経済面での対応について

・国の修学支援新制度による授業料減免やその他奨学金などの迅速な対応を行っています。
(高等教育の修学支援制度、日本学生支援機構貸与型奨学金、その他の奨学金などの情報提供)
・令和4(2022)年度の新入学生から、ICT活用の促進およびペーパーレス化を目的に講義等にタブレットを使用しています。準備が間に合わない場合は、iPadの貸与を行っています。

★今後も学生の皆さまにとって、より豊かな学びができる場となるよう学習環境を整えるとともに、教員の教育力向上に努めてまいります。
父母の皆さまのご支援、ご指導をお願い申し上げます。

2 看護学部の教育目標と学生の学修の実際について（若杉里実看護学部長）

■看護学部教育目標

「Humanity」：人間尊重を基盤とした豊かな人間性
「Community」：社会と人々の暮らしや健康を支える地域性
「Internationality」：国内外の多様な文化と価値観を尊重する国際性
「Professionalism」：社会の変化や多様な状況・場に対応できる看護実践能力

■看護学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

1.豊かな感性と倫理観を身につけている
2.地域社会の健康増進に貢献できる能力を身につけている
3.保健医療福祉チームの一員として信頼関係を築き、連携・協働する能力を身につけている
4.異なる言語・文化背景に配慮した看護を実践できる能力を身につけている
5.科学的根拠に基づく看護を実践できる基礎的な能力を身につけている
6.専門性を自律的に探究し、継続的に向上させていく姿勢を身につけている

■看護学部のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

・授業では、それぞれの科目を対面・遠隔授業を併用した講義、演習、実習など多様な学修形態を通じて展開するとともに、アクティブ・ラーニングを活用し、対象となる人々の深い理解と汎用的・発展的な能力の育成を図る能動的な学修を取り入れることで、ディプロマ・ポリシーの６つの力を総合的に育成する。
・学びを通して自律性や創造性を発揮でき、生涯学習の基盤となる力を身につける時間割編成とする。
*2022年度からの教育課程の編成において、科目を「教養科目群」「専門基礎科目群」「看護学専門科目群」と分類し、基礎から応用へと系統かつ段階的に学習できるよう構成している。
*学年縦断科目や領域横断科目、多職種連携・協働教育(IPE)等による特徴ある効果的な科目を設定している。

■看護学部のカリキュラムの特徴

・看護学部には、６つのディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)がある。
・看護学専門科目群には、横断科目として「ヘルスプロモーション論(1学年次4月開講)があり、6月のヒューマニティ実習と連動させている。
・看護の共通基盤となる「生涯発達論」と「家族看護」は複数の専門領域が協働して講義をおこなう領域横断科目である。
・「災害看護学」と「チーム医療論 (IPE)」は、１学年次から開講し、４学年次に評価する学年縦断科目である。
・領域の科目の中では、概論、演習、実習と連動させて授業設計を考えている。

■ヘルスプロモーション論のシラバス

■授業の評価基準と成績評価

■GPAについて

・GPA(グレート・ポイント・アベレージ)の評価基準
・GPAの算出式

■R6(2024)年度学修成果把握アンケート結果の一部

★令和5年度より、学生の出席管理システムを保護者も閲覧することができます。

3 社会奉仕活動導入の提案について（山中　真看護学部長補佐）

■医療現場における課題

・労働環境や社会とのつながり
・職業としての社会的意義を実感できる機会の不足

■新人看護師の退職理由

・精神的/身体的な健康問題
・職業への適性や能力への不安
・待遇の良い職場への関心

■プロジェクト目的

地域の様々な年齢層や背景を持つ方々との交流を通じて、多様な価値観や生活背景を理する力を育むことが目的です。
・「専門的視点の育成」「共感力と社会性の向上」「職業的アイデンティティの確立」

■本学の教育理念との関連

・人間性：様々な人と接し共感力や倫理感の育成
・地域制：地域の健康課題の理解と解決への貢献
・専門性：看護実践技術の発揮と育成
・国際性：多文化共生社会の理解

■具体的内容

・学業とのバランスを考慮し、年間2回程度の参加。
・時間も半日から1日程度とし、活動時の事故について加入しているWillでの対応可能。
・関連施設でのボランティア・災害予防活動大学公開講座やオープンキャンパスの企画運営協力。
学生の安全と学習効果を最大化するため、事前説明会や振り返り（レポート提出）を予定しています。

■期待される教育の効果

・社会での活動を通じて看護職の社会的役割を実感し、職業意識向上していくこと。
・地域活動を通じて「看護師としてどう関わるべきか」を体験的に学ぶ活動を通じて自身のロールモデルの発見。
社会経験　⇒　人間的成長　⇒　看護職役割理解

■活動継続における本学の強み

・複数大学で社会奉仕活動は教育に取り入れられており、看護教育においても重要性が認識されています。
・本学での病院や大学イベントなどでの活動実績があり、連携体制が整っています。
・愛知医科大学病院との信頼関係が大きな強みであり、これらの基盤をもとにより体系的なプログラムとして発展を予定しています。
・看護学部の教員には地域保健活動の経験者も多く、専門的な指導体制も整っています。

学業生活等に関する相談窓口について

看護学部では、大学生活のさまざまな悩み事については、アドバイザー（看護学部教員）や学年主任，副主任を始めとして複数の相談窓口を設置しています。(学生便覧76,77頁参照)その他ご不明な点等がございましたら、看護学部学生支援課までお問合わせください。

令和6年度卒業証書・学位記授与式

令和7年3月1日（土）午前10時から令和6年度卒業証書・学位記授与式が大学本館たちばなホールにおいて挙行されました。当日は卒業生及びご家族の方に参列いただき式が執り行われました。初めに、祖父江 元 学長、笠井謙次医学部長及び若杉里実看護学部長より医学部卒業生101名、看護学部卒業生99名卒業生一人ひとりに卒業証書・学位記が授与されました。続いて、祖父江学長から告辞が述べられました。この後、在校生を代表して看護学部3学年次生の山口　雅さんが送辞を述べられ、卒業生を代表して医学部の冨田明日香さんから答辞を述べられ、それぞれの想いを胸に元気に巣立って行きました。

令和6年度卒業時成績優秀者表彰

卒業証書・学位授与式に併せて令和6年度看護学部卒業時成績優秀者表彰が行われました。

この表彰は4年間の在学中に成績優秀及び他の学生の模範となった看護学部生に顕彰され、表彰状と副賞が贈られました。

学長賞
田村 悠衣さん

看護学部長賞
西本 彩乃さん

看護学部長賞
杉野 さくらさん

看護学部父母会長賞
塩谷 花梨さん

特別賞
坪井 沙耶花さん

令和6年度卒業記念品除幕式

令和7年3月13日（木）看護学部学生ホールにて卒業記念品除幕式が行われ、「ホールクロック一点」が寄贈されました。

当日は、卒業生代表の髙畠美優さんから記念品贈呈の言葉を述べられたあと、祖父江学長、若杉看護学部長、本学役職者、看護学部の教員及び令和6年度卒業生により除幕式が行われ、祖父江学長からお礼の言葉を頂きました。

令和6年度保健師・看護師国家試験結果について

令和7年2月に行われました第111回保健師・第114回看護師国家試験の結果は次のとおりです。

試験名＼合格(率)	本学						全国		
	新卒者		既卒者		全体				
	合格者/受験者	合格率	合格者/受験者	合格率	合格者/受験者	合格率	合格者/受験者	新卒	合格率
保健師(第111回)	15/15	100%	1/0	0%	16/15	93.8%	7,196/7,658	96.4%	94.0%
看護師(第114回)	99/99	100%	1/1	100%	100/100	100%	56,906/63,131	95.9%	90.1%

第22回卒業生の進路状況について

令和6年度卒業生の進路は次のとおりです。

区分	就職・進学先等		人数
看護師(91名)	愛知県(85名)	愛知医科大学病院	69
		名古屋市立大学病院	4
		刈谷豊田総合病院	1
		南医療生活協同組合総合病院南生協病院	1
		名古屋セントラル病院	1
		トヨタ記念病院	1
		愛知県医療療育総合センター	1
		藤田医科大学病院	1
		江南厚生病院	1
		総合大雄会病院	1
		大同病院	1
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	1
		一宮西病院	1
		足助病院	1

区分	就職・進学先等		人数
看護師	東京都(4名)	日本医科大学付属病院	1
		国立国際医療研究センター病院	1
		日本赤十字社医療センター	1
		虎の門病院	1
	神奈川県(1名)	川崎幸病院	1
	静岡県(1名)	聖隷浜松病院	1
保健師(1名)	愛知県(1名)	豊田市	1
進学(5名)	愛知県(4名)	名古屋学芸大学別科助産学専攻	4
	静岡県(1名)	聖隷クリストファー大学助産学専攻科	1
その他(2名)	長崎県(1名)	海上自衛隊 佐世保教育隊	1
	岐阜県(1名)	株式会社ハビックス	1
合計			99

会員だより

1学年次父母　伊達　広子

「ひなたはいつもニコニコしてるね」「いつも楽しそうだね」
先生や同級生のお母さん方によくそう声をかけてもらいました。
口数は少ないけれど学校・友達・野球が大好きで、幼い頃はいつも外を駆け回って遊ぶ元気な子でした。
そんな彼が自分の進路を決めたのは、高校2年生の秋。苦しくもきっかけは新型コロナ感染症の大流行によるものでした。
中学1年生の冬、突然の休校を余儀なくされ、部活動にも制限がかかり、毎日会っていた友達とも会えず、楽しみにしていた学校行事が次々と中止・縮小となっていく中、「外へ出ることが悪」のような状況が息子にとっては本当に本当に辛い時期でした。
そんな中、日々報道される医療現場の現状と見えない敵と戦う医療従事者の方々を目にしていくうちに、自分の心のモヤモヤの根源に対しての苛立ちが、いつしかそれに立ち向かう医療従事者への憧れに変わっていったそうです。
高校3年生で部活動を引退してから大学受験までの短い期間でしたが、進路を愛知医科大学看護学部に絞り、合格・入学することを信じて懸命に努力する姿勢に改めて彼の意志の強さを感じました。
小学生の頃から「将来の夢は？」と尋ねても「わからない‥」と答え続けてきた子が、これを目指したいと初めて口にした職業。
コロナ禍の世の中で医療関係の仕事がとても重要で責任が伴うことを理解した上での決断。
それでも看護師という進路を選択したこれ以上の詳しいことは語ってくれませんが、
今となっては幼い頃から"人が好き"な彼の中に「人と直接関わる職業に就きたい、人を支えたい」という気持ちがどこかにあるのかな‥と感じています。
今朝も笑顔で学校へ出かけました。
今は同じ道を目指す仲間たちと共に切磋琢磨し皆で夢を叶えてくれることを信じ、わたしも陰ながら応援しています！

愛Crewと共に患者さんに寄り添って～愛Crew事業5年目に感謝～

愛知医科大学病院　副院長・看護部長　井上　里恵

夜間の看護業務の負担軽減のため、学生のアルバイト（愛Crew）による夜間看護補助の事業をすすめ5年目となりました。当時、「病院から学生にアルバイトをすすめていいのか」、「ご父兄から反対されないか」など、不安を抱えながら父母会に説明に行ったのを覚えています。

愛Crewが実際に病院で働き始めたのは、コロナ禍中の2021年7月でした。そのため、厳重な感染対策のもと限られた業務でしたが、現在は患者の足浴（入眠援助ケア）、オムツ交換、体位変換（からだの向きを変えること）、車いす搬送など患者さんに直接ケアする業務から、配膳、メッセンジャー、清掃、シーツ交換、書類整理などの周辺業務など多くの業務を担っています。

毎年度実施しているアンケートでは、「学業とアルバイトの両立ができている」、「自身の成長につながっている」の回答が9割を超えています。また、「実習で足らない臨床の経験になる」「看護師の仕事を間近で見ることができる」「患者さんとのコミュニケーションが学べる」「看護技術の経験を多く積むことができる」「将来自分が働くイメージがつけやすくなった」など嬉しい声が挙がっています。私たち看護師がたくさん助けられていることに加え、学生たちは多くの学びにつながっていることを実感しています。

今年もたくさんの愛Crew経験者が、看護師として愛知医科大学病院に入職し、元気に働いています。私たち看護師は愛Crewと共に患者さんに寄り添い、入院生活を支えています。

引き続き、愛Crew事業にご支援いただきますようよろしくお願いします。

編集後記

副会長
編集責任者：戸塚悦子

父母会会員の皆様には、日頃より本会活動に対しご支援を賜わり感謝申し上げます。

時代の変化により、同じ空間で直接コミュニケーションをとる機会が少なくなってきております。学校生活や実習を通じて、「手と目を使い感じ取る」経験を重ね、人との触れ合いの大切さを学べる様に、父母会と大学との連携を図りサポートさせていただければと考えております。ご意見ご要望がございましたら、是非お寄せ下さい。

今後とも父母会の活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

愛知医科大学看護学部 父母会会報 第48号

発行日　2025年9月1日
発　行　愛知医科大学看護学部父母会
発行人　田上　寛
編集人　戸塚悦子
連絡先　〒480-1195
愛知県長久手市岩作雁又1番地1
愛知医科大学看護学部父母会事務局
TEL (0561)62-3311 (内線12045)
FAX (0561)61-1834
E-mail:fubokai@aichi-med-u.ac.jp